

都市づくりの理念と目標(案)

1. 都市づくりの理念

まち まち
街と町をつなぎ 豊かさをつむぐ たはらガーデンシティ

海沿いの2つの軸（国道42号及び259号）上に市街地（街）・集落（町）が展開しているため、今後の都市づくりは「街」と「町」をコンパクトにし、コンパクトな市街地とコンパクトな集落を効率的につなげることが極めて重要です。これら「まち」のネットワークを形成することにより地域の個性が活かされ、活力を創出し、都市の豊かさと農村・漁村の豊かさを併せもつガーデンシティを目指します。

ガーデンシティとは	豊かな自然環境、農業・工業などの生産の場、生活空間が調和して、持続可能となるようにデザインされた理想都市
-----------	--

2. 田原市の目指すコンパクトシティとは

本市の目指すコンパクトシティは、都市拠点に都市機能施設や居住をすべて集約させるのではなく、市街地（街）と集落（町）がその機能を適切に分担しながらネットワークによってつなわれ、それぞれがともに生き続けられる持続可能な都市づくりです。

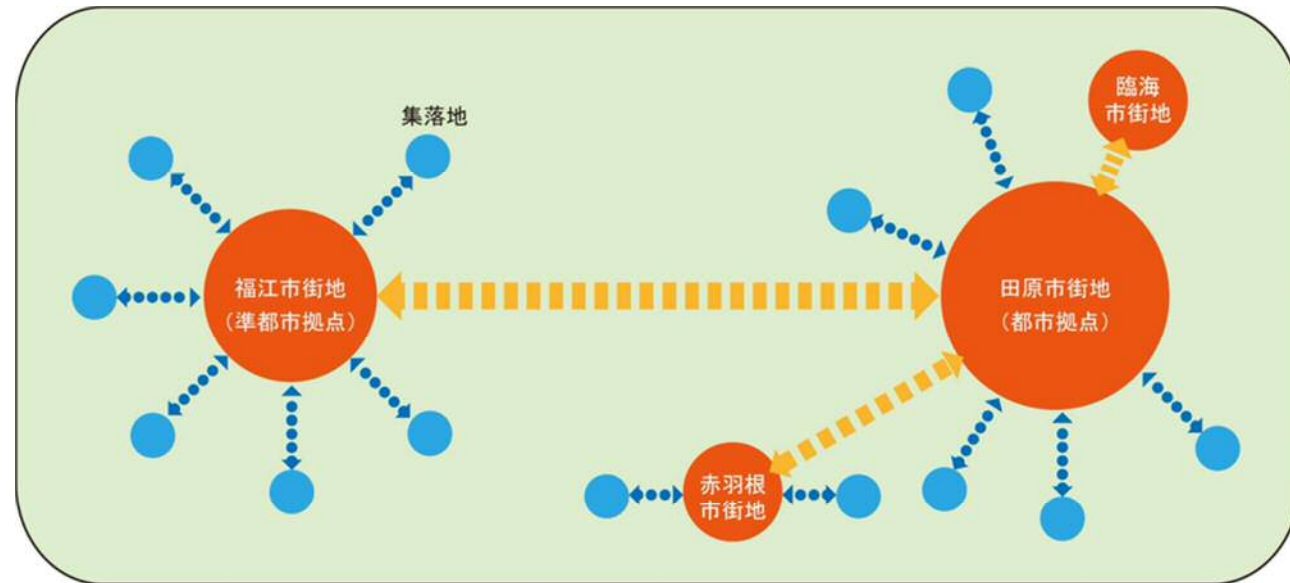


図 田原市の目指すコンパクトシティ

3. 都市づくりの目標

地理的条件を克服する広域ネットワークづくり

東名・新東名高速道路等の国土軸、三遠南信地域及び環伊勢湾地域の連携を担う国土軸として期待される三遠南信自動車道の整備を促進するとともに、浜松三ヶ日・豊橋道路、伊勢湾口道路の早期事業化を促進します。

また、半島地域の持つ交通ハンデの解消や市域と高速交通網の時間短縮の効果が期待される東三河縦貫軸（渥美半島縦貫道路など）の一層の整備促進を図ります。

地震・津波等の災害に対応した安全・安心な都市づくり

東海地震・東南海地震・南海地震等巨大地震の発生により、半島全体にわたって被害が発生することが予測されています。

そのため、被害を最小限にとどめられるよう、都市基盤整備による防災機能の充実と合わせて、避難体制の強化や長期的視点からの土地利用誘導等を総合的に進めます。

地域特性を活かした拠点にふさわしい市街地（街）づくり

田原市には、旧3町の中心及び県下有数の規模を有する工業地の4つの市街地があり、それぞれ異なる文化や成り立ちの歴史があります。

そのため、各市街地の都市機能の分担を明確にし、それぞれの地域特性を活かした市街地形成を図ります。

将来も持続可能な集落（町）づくり

市域全体の約6割が市街化調整区域に居住する田原市の特性から、市街地外に多数の集落（町）が分布しています。将来、人口減少、少子高齢化の進展が見込まれる中、集落における生活関連施設の維持が難しくなる集落が発生することが予測されます。

そのため、市街地とのネットワークを充実させ、日常生活が可能な環境を確保することにより、持続可能な集落（町）づくりを図ります。

住民が主体となって進めるまちづくり

住民が主体となった住環境整備に向けたまちづくりの仕組みを構築し、地区の特性を活かしたまちづくりを推進します。